

新日本石油にて一日企業見学プログラム **『社会の最前線』見学～エネルギーの最前線』を実施しました**

フューチャー イノベーション フォーラム(代表=牛尾治朗・ウシオ電機株式会社社長、金丸恭文・フューチャーアーキテクト株式会社社長、略称:FIF)は、新日本石油株式会社(本社・東京都港区)、新日本石油精製株式会社(同)のご協力のもと、中学生を対象とした一日企業見学プログラム『社会の最前線』見学～エネルギーの最前線』を8月8日(水)、神奈川県横浜市にある中央販売研修センター、中央技術研究所および根岸製油所で開催いたしました。

FIFは「IT イノベーションを人と社会と企業のために」というコンセプトのもと、2006年1月の設立以来、社会貢献の一環として子どもたちや会員を対象に様々な活動を行っています。当プログラムもその一つで、社会のしくみや働くことの楽しさを知ることによって子どもたちに社会人としてあるべき姿を模索してもらおうと、毎年春と夏に開催。企業・団体のトップとの直接対話や店舗での実習体験、ふだんは部外者に開放していない場所の見学など、一般的な企業訪問では体験できない独自のプログラムを企画しています。

「エネルギーの最前線」には中学1～3年生の18人が参加。午前中は中央販売研修センターにて、サービスステーション(SS)でお客さんを気持ちよく迎えるための挨拶や笑顔を練習し、実際に自動車の安全点検作業を一人ずつ行ったあと、根岸製油所に移動。石油や石油製品、製油所の仕事や石油精製のしくみについて学習しました。午後は製油所構内を見学しながら棧橋へ行き、救命胴衣やヘルメットを着けて日本郵船株式会社が所有する全長約330メートルの巨大タンカー「高砂丸」に乗船。参加者はその大きさに驚いた様子で、コントロールルームや機関室などを熱心に見学し、船長への質問コーナーでは「どんな食事をしているの?」「船内では何語で話しているの?」など次々に質問が飛び出しました。

続いて最先端エネルギーの研究・開発を行っている中央技術研究所を訪ね、サトウキビやトウモロコシを材料とするバイオマス燃料についてエタノール発酵の実験などを行いながら学んだり、水素で発電する燃料電池を組み立てたり、燃料電池車に試乗したりしました。最後に渡文明会長から地球温暖化対策や次世代エネルギーへの取組、仕事のやりがいなどについてお話を聞きました。「一人ひとりの努力の積み重ねで環境問題は解決できる」「エネルギー産業は、みなさんの豊かな生活を支えるやりがいのある重要な仕事。みなさんにもずっと興味をもってほしい」という会長の呼びかけに、真剣な表情で応えていました。

参加者はみな「タンカーに乗れて、とても楽しかった」「貴重な体験ができた」と満足した様子でした。一日かけて「現場の最前線」を体感することで、子どもたちにはエネルギーがいかに私たちの暮らしを支えているかを実感し、理解を深めてもらえたとともに、タンカー乗船や製油所見学など貴重な体験を通して、スケールの大きさを感じてもらったのではと考えております。

FIFではこの企業見学のほかに、子どもたちを対象としたパソコン組み立て教室やロボットカーレースの開催を予定しています。今後も引き続き、社会貢献に取り組んでいく所存です。

【開催報告】

日時：2007年8月8日(水) 10:00～17:00

場所：新日本石油株式会社 中央販売研修センター、中央技術研究所（神奈川県横浜市）
新日本石油精製株式会社 根岸製油所(同)

参加者：中学1～3年生、18人

プログラム内容：

	プログラム	プログラム内容
午前	SSスタッフ模擬体験	SSの業務説明、挨拶・笑顔の練習、自動車の安全点検の実習
	根岸製油所見学	石油や製油所の仕事の講義、構内見学(蒸留装置、原油タンク、タンク車など)
午後	タンカー乗船	ブリッジ、コントロールルーム、機関室の見学、船長への質疑応答
	最先端エネルギー実験	中央技術研究所にてバイオマス燃料と燃料電池の各種実験、燃料電池車試乗
	渡文明会長のお話	環境先進企業としての取組や仕事のやりがいなどのお話、質疑応答

参加者からの主な感想： ※アンケートより抜粋

- ・実験が面白かったし、色々な事が学べた。(中1男子)
- ・石油ってガソリンぐらいの使用例しか知らなかったけど、話を聞いたりすると意外と身近にたくさんあっておどろいた。(中1女子)
- ・みなさんがとてもがんばっている姿をみて、このような技術者になりたいと思った。(中1男子)
- ・テレビででてくるようなはく力のあるタンカーに乗れて、面白かった。(中1男子)
- ・ただ石油を売るだけでなく、地球にやさしい物を作る事にたくさんのお金をかけている。(中2男子)
- ・自然に優しい燃料電池車などが作られていて、とても興味をもった。(中3男子)

保護者からの主な感想： ※アンケートより抜粋

- ・普段見られない施設やタンカー乗船など初めての体験にとっても喜んでおりました。
- ・心あたたまるご配慮の中、一日満たされた様で満足した表情で帰宅しました。子供の頃のたくさん体験は机上・教科書では学べないものであり、そこから、又学べることから発展していくことなので大変良かったです。

当日の様様：



タンカーの前で記念撮影



燃料電池を組み立てる実験



渡会長(一番右)と質疑応答する参加者

● 本件に関する一般からのお問い合わせ先：

フューチャー イノベーション フォーラム事務局（フューチャーアーキテクト株式会社内）

TEL：03-5740-5817(祝休日を除く平日 10:00～17:00) 電子メール：forum@future.co.jp

● 本件に関する報道機関からのお問い合わせ先：

フューチャーアーキテクト株式会社 経営企画室 PR担当 有田

TEL：03-5740-5723(広報直通) 電子メール：pr@future.co.jp